

編集後記

立命館大学国際平和ミュージアムは、2012年5月19日で開設20周年を迎えました。記念式典に始まった、シンポジウムや特別展示などの20周年事業は、多くの方々のご協力を得て、たいへん水準の高い充実したものとなりました。今回の紀要の巻頭特集には、11月30日に開催した、国際平和シンポジウムでの講演記録が収められています。

ミュージアムを拠点としての平和学・平和教育の学術研究を発信していくことも、今後の国際平和ミュージアムの重要な使命としてより充実させていきたいと思っています。また、博物館として展示技法や技術についても研究成果を蓄積していきたいと考えています。今回は、春季特別展『放射能と人類の未来』で導入したデジタル技術の成果について、映像学部の教員による共同執筆論文を取っています。「放射能」という目に見えないものをデジタル技術によって実感してもらうという試みから、今後のミュージアムの展示展開に新たな方向を与えていただきました。

国際平和ミュージアムを中心として、平和学、国際政治学、法学、歴史学、哲学、倫理学、社会学、映像学、芸術学、文学、教育学、環境科学、エネルギー工学など、あらゆる学術領域の知識を結集して、立命館大学から発信する平和学研究を生み出したいと思っています。

編集委員長 加國尚志

投稿へのお誘い

1. 立命館平和研究-立命館大学国際平和ミュージアム紀要-では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。

- ・平和に関する学術研究
- ・平和に関する教育実践報告
- ・博物館活動
- ・博学連携

2. 種類と分量

掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとします。

フォーマットは40字×30行とします。

- | | |
|---------|-----------------|
| ①論文 | 12,000字～40,000字 |
| ②資料紹介 | 4,000字～20,000字 |
| ③研究ノート | 4,000字～16,000字 |
| ④書評 | 4,000字～8,000字 |
| ⑤調査・研究 | 4,000字～20,000字 |
| ⑥実践報告 | 4,000字～20,000字 |
| ⑦研究展望 | 4,000字～12,000字 |
| ⑧時評・コラム | 4,000字～6,000字 |

3. 言語

原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。

英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。

4. スケジュール

7月第1土曜日…原稿応募申込締切り

以下の情報をファックス又は郵送（ファックス書面又は封筒に朱書きで「立命館平和研究」応募と明記すること）

- 1 論文の題名（仮題でも可）、2種類、3日本語要旨、4分量

↓

9月末日…原稿締切り

※受取方法：郵送のみ。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記すること。
※提出物：完成原稿と日本語要旨（200字程度）と英語タイトルと英語要旨（250字程度）を印刷とデジタルデータで提出。

↓

3月上旬…刊行（予定）

5. 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却（掲載不可）などの結果を原稿締切り後3カ月以内に投稿者に連絡します。

6. 二重投稿はお断りします。

7. 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。

8. 備考

原稿料はお出しません。

掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部進呈します。

9. 原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアム

立命館平和研究編集委員会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL.: 075-465-8151 FAX.: 075-465-7899